

目 次

増補版 はじめに	i
はじめに	iii
瓦器碗の地域色と分布	1
【コラム1】研究をささえた人たち (12)	
中世成立期の土器様相—畿内を中心に—	13
【コラム2】学史のひとコマと触れ合う (40)	
川尻の遺跡群メモ—尼崎市大物遺跡を中心に—	41
土器・陶磁器が語る中世の流通—吉備系土師器碗・備前碗を中心に—	49
*	
土器研究と中世社会	67
土佐と安芸の中世土器	73
【コラム3】中世土器との遭遇 (76)	
土佐日記から一条氏下向まで	77
【コラム4】土器流通と地域1 (82)	
シンポジウム「器からみた中世の交流と交易」について	83
【コラム5】土器流通と地域2 (86)	
浙江省の青磁生産窯と資料	87
【コラム6】北と南のネットワーク (90)	
吉井川河口部出土の瓦器碗	91
水無瀬離宮周辺の遺跡と出土資料	95
【コラム7】淀川・瀬戸内の水運1 (98)	
土器研究と重源の時代	99
流通拠点と模倣土器	103
【コラム8】淀川・瀬戸内の水運2 (108)	

芥川城跡とその周辺	109
摂津古曽部焼について	113
増補版 あとがき	121
あとがき	122
主要著作一覧	123